

COMV

communication x voluntary



特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」
おもちゃに愛情を注ぎ
新たな命を吹き込む人たち

おおさか・おもちゃ病院協議会

- 5 ボラ基金交付団体へ突撃取材
元気なシニアの集いの場を、ここから
NPO法人 ここから100
- 6 共に暮らすまちづくりをめざして
—多文化共生シンポジウム開催—



特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」

おもちゃに愛情を注ぎ 新たな命を吹き込む人たち

おおさか・おもちゃ病院協議会

12 つくる責任
つかう責任



「大阪市内におもちゃ病院ができたのは、今から18年前のことなんです。」
そう話すのは、おもちゃドクターの安楽雄一さん(以下、安楽さん)。機械いじりが大好きで、おもちゃの修理などを楽しそうにしている姿を見た家族が、たまたま見つけて渡してくれた講習会のチラシが、おもちゃドクターとの出会でした。

市内19区で活動する 大阪のおもちゃ病院

電池で走る電車、リモコンで動くレーシングカー、ボタンを押すとおしゃべりする人形…。こどものお気に入りのおもちゃが動かなくなって困ったことはありませんか？
そんな時に頼れるのが、無料でおもちゃを修理してもらえる『おもちゃ病院』。ボランティアのおもちゃドクターによって、公共施設などで定期的に開院されています。
今回は、大阪市内のおもちゃ病院のネットワークである『おおさか・おもちゃ病院協議会』をご紹介します。これたおもちゃに新たな命を吹き込む、おもちゃドクターたちの想いや奮闘ぶりをお伝えします。

「2003年に住吉区で、そのチラシにあった『おもちゃドクター講習会』を受講しました。その時、講師の先生から『できれば大阪市内でもおもちゃ病院を作ってほしい』というお話をいただいたんです。それで、手ほどきを受けながら、講習会に参加していたメンバーで2004年1月に『おおさか・すみよし・おもちゃ病院』を開院しました」と、安楽さん。

そして翌年、当時のメンバーが分院して『おおさか・あべの・おもちゃ病院』をスタート。各区の社会福祉協議会からおもちゃドクター講習会の依頼も増え、福島区、北区、西成区とおもちゃ病院がぞくぞくと誕生。現在では大阪市内19区で23のおもちゃ病院にまで広がりました。

さらに、おもちゃ病院同士が応援などで行き来できる体制を整えるため、2008年に『おおさか・おもちゃ病院協議会』（以下、協議会）を発足。おもちゃの修理情報の交換なども行い、みんなで修理の技術を高めていきました。

協議会に登録するおもちゃドクターたちは、こども好き・機械好き・おもちゃ好きの人ばかり。ドクターになったきっかけは、安楽さんのように講習会を受けた人、募集情報を見た人、おもちゃ病院に見学に来た人などさまざまです。

「もともと電機メーカーなどで働い

ていた人が、自分の技術がボランティアに活かせるかも、ということで見学に来てくださることも多いですよ。皆さん、すごい技術を持ってもらえるので、できるだけドクターになってもらえるように勧誘しています」と、安楽さんはいたずらっぽく笑います。



おもちゃ病院開院メンバーの安楽さん(左)、岸本さん(右)



受付でおもちゃの状態を聞き取ります

こわれたおもちゃと夢中で向き合う

今回、取材に伺ったのは『おおさか・すみよし・おもちゃ病院』です。住吉区子ども子育てプラザに設けられた会場には、8人のおもちゃドクターが待機。中には、阿倍野区、東住吉区、港区などから応援に来たドクターもいます。

コロナ禍のため、おもちゃの受付は予約制で行われており、まずは事前に預かっていた、1980年代製造のリモコンカー2台が修理にやってきました。

「これはすごい年代物やなあ」と、ドクターたちはみんな揃って目を輝かせます。まずはじっくりと外観を観察した後、ドライバーでネジをはずし、車の内部をチェック。付着したサビを電動工具で丁寧に落とし、新しい電池を入れて動きを確かめながら、故障の原因を探り出していきます。

そうこうしているうちに、予約していた人たちも順番に到着。受付担当の安楽さんが、人気キャラクターのおもちゃを持ってきたこどもに笑顔で話しかけながら、不具合の様子を聞き取ります。

「これ、電池を入れても音が鳴らへんねん」断線かな？それとも部品の不良かな？故障の原因に見当をつけると、

その分野の修理が得意なドクターに引き渡します。



ドクターの知恵を集めて修理方法を検討

「最近フリーマーケットなどでおもちゃを購入して、家で遊ぼうとした時に故障に気づくケースも多いんです。ドクターに修理してもらって、初めておもちゃの鳴る音を聞いて感動する子もいますよ」と、安楽さん。

おもちゃの修理は15分ほどで直るものもあれば、難易度が高く、次回のおもちゃ病院の日まで入院となるものもあります。それでも、持ち込まれたおもちゃのうち95%ほどが直るというから驚きです。また、壊れてしまった部品を木やステンレスの素材から作り出したり、おもちゃのネジに合うドライバーがない場合は、既存のドライバーの先を削って調整することもあります。

「いくつも修理していくうちに、おもちゃの構造がだいたい分かるようになって

てくるし、技術も向上していきます。分からないことについても教えてくれるドクターがいるし、修理に夢中になっている時間は本当に楽しいんです。」

安楽さんと一緒におもちゃ病院を始めた岸本肇さん(以下、岸本さん)も、いきいきとした笑顔でそう話します。



黙々と繊細な作業が続く場合も

おもちゃが直った時の
喜びや感動を届けたい

おもちゃ病院では、*ドクターが修理する様子を見ることもできます。

「自分のおもちゃが最初に分解されるのを見て、不安で泣きそうになる子もい



直るかな?こどもも修理に興味津々

ます。でも、そのあと、おもちゃが直って動くのを見ると、ものすごく喜んでくれます。それが楽しくて、やりがいになって、ドクターはみんな頑張れるんですよ」と、安楽さん。

おもちゃ病院には、こどもだけではなく、大人もおもちゃの修理にやっています。

「すぐに故障してしまうラジコンカーを何回も持ってきてくれる人がいて、話を聞くと、亡くなったご両親からプレゼントされたもので、とても大事にされていたんです」と、岸本さん。

「お父さんからもらったブリキのオートバイを、自分のこどもにも遊ばせてあげたいからと修理にいられた人もいま

した。直してお渡しした時に、本当に感動しておられたのが印象的でしたね。」

岸本さんの言葉に深くうなずきながら、安楽さんもそう話します。壊れてしまい、長い間動かなかったおもちゃが動いた時、さまざまな思い出もまた、よみがえってくるのかもしれない。

大阪市内におもちゃ病院が誕生して18年。ラジコンカーやプラレール、テレビの人気キャラクターものなど、ずっと変わらず人気を誇るおもちゃはたくさんあります。その一方、回路などの構造が複雑化して修理が難しいおもちゃも増えました。また、中国など海外製造のものも多く、取り換え用の部品も手に入らなくなっているそうです。



直ったおもちゃを受け取り、お母さんも満面の笑顔

「おもちゃ病院が終わった後などに、みんなでワイワイ話しながら、新しいおもちゃの修理方法を勉強しています。どんなに難しいおもちゃでも、直して、渡した時に喜んでもらいたい。それが僕たちにとって最高の報酬ですから」と、安楽さんは優しい笑顔で話してくれました。

皆さんも、押し入れや引き出しの奥に眠っている大好きだったおもちゃと一緒に、おもちゃ病院に出かけてみませんか?おもちゃに新しい命が吹き込まれた時、止まっていた時間が動き出す感動に、きっと出会えるはずです。

*コロナウイルス感染症拡大予防のため、状況によっては、おもちゃ修理の見学ができない場合もあります。



おおさか・おもちゃ病院協会のおもちゃドクターたち

おおさか・おもちゃ病院協議会

<https://omochaclinic.hide-yoshi.net/>

※問合せ先はP4をご覧ください



おおさか・おもちゃ病院協議会に加盟している

大阪市内のおもちゃ病院

※日程が変更となる場合がありますので、必ず事前にお問合せください。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予約制となっている場合があります。
こちらも事前にご確認ください。



区	病院名	開催日	住所・電話番号
北区	おおさか・きた(大淀)・おもちゃ病院	第1土曜日 (午後1時30分～午後4時)	北区大淀老人福祉センター (北区本庄東1-24-11) TEL 06-6374-0873
	おおさか・きた(同心)・おもちゃ病院	第3土曜日 (午後1時30分～午後4時)	北区北老人福祉センター(北区同心1-5-27) TEL 06-6352-7025
都島区	おおさか・みやこじま・おもちゃ病院	第2土曜日 (午後1時～午後3時)	都島区子ども・子育てプラザ (都島区中野町5-15-21) TEL 06-6923-0150
福島区	おおさか・ふくしま・おもちゃ病院	第3土曜日 (午後1時～午後3時)	福島区子ども・子育てプラザ(福島区海老江6-1-14) TEL 06-6453-0207
此花区	おおさか・このはな・おもちゃ病院	第2土曜日 (午後1時30分～午後3時)	此花区子ども・子育てプラザ (此花区四貴島2-26-17) TEL 06-6463-1881
中央区	おおさか・ちゅうおう・おもちゃ病院	第1土曜日 (午後1時～午後3時)	中央区子ども・子育てプラザ (中央区島之内2-12-6) TEL 06-6213-2171
西区	おおさか・にし・おもちゃ病院	第1土曜日 (午後1時30分～午後3時30分)	西区子ども・子育てプラザ (西区本田3-7-2) TEL 06-6582-9553
港区	おおさか・みなと・おもちゃ病院	第1土曜日 (午後1時～午後3時)	港区子ども・子育てプラザ (港区磯路2-11-10) TEL 06-6573-7792
大正区	おおさか・たいしょう・おもちゃ病院	第4土曜日 (午前10時～午前12時)	大正区子ども・子育てプラザ (大正区泉尾3-9-16) TEL 06-6554-5377
淀川区	おおさか・よどがわ・おもちゃ病院	第4土曜日 (午後1時30分～午後3時30分)	淀川区子ども・子育てプラザ (淀川区新高1-11-19) TEL 06-6395-6420
東成区	おおさか・ひがしなり・おもちゃ病院	第1土曜日 (午後1時～午後4時)	東成区在宅サービスセンター (東成区大今里南3-11-2) TEL 06-6977-7031
生野区	おおさか・いくの・おもちゃ病院	第4土曜日 (午前9時30分～午前12時) ※祝日の場合は休み	生野区ボランティア・市民活動センター (生野区勝山北3-13-20) TEL 06-6712-3101
旭区	おおさか・あさひ・おもちゃ病院	第4土曜日 (午後1時～午後3時)	旭区子ども・子育てプラザ (旭区森小路2-5-29) TEL 06-6955-1144
城東区	おおさか・じょうとう(中央)・おもちゃ病院	第3土曜日 (午後1時～午後3時)	城東区老人福祉センター (城東区中央3-5-1 城東区役所4階) TEL 06-6932-0017
	おおさか・じょうとう(今福西)・おもちゃ病院	第1日曜日 (午後1時30分～午後3時30分)	城東区子ども・子育てプラザ (城東区今福西1-1-39) TEL 06-6933-2880
阿倍野区	おおさか・あべの・おもちゃ病院	第4日曜日 (午前10時～午前12時) ※12月のみ第3日曜日	阿倍野区子ども・子育てプラザ (阿倍野区阪南町2-23-21) TEL 06-6623-1775
住之江区	おおさか・すみのえ・おもちゃ病院	第4日曜日 (午後1時～午後3時30分)	住之江区子ども・子育てプラザ (住之江区浜口西3-4-12) TEL 06-6674-5405
住吉区	おおさか・すみよし・おもちゃ病院	第2土曜日 (午後1時30分～午後4時) ※祝日の場合は第3土曜日	住吉区子ども・子育てプラザ (住吉区南住吉2-18-21) TEL 06-6693-2970
東住吉区	おおさか・ひがしすみよし・おもちゃ病院	第4土曜日 (午後1時30分～午後3時30分)	東住吉区社会福祉協議会さわやかセンター (東住吉区田辺2-10-18) TEL 06-6622-6611
平野区	おおさか・ひらの(瓜破)・おもちゃ病院	第2土曜日 (午前10時～午前12時)	平野区子ども・子育てプラザ (平野区瓜破3-3-64) TEL 06-6707-0900
	おおさか・ひらの(加美鞍作)・おもちゃ病院	第3土曜日 (午前10時～午前12時)	平野区老人福祉センター (平野区加美鞍作1-2-26) TEL 06-6793-0880
	おおさか・ひらの(平野東)・おもちゃ病院	第4土曜日 (午前10時～午前12時)	平野区ボランティア・市民活動センター (平野区平野東2-1-30) TEL 06-6795-2525
西成区	おおさか・にしなり・おもちゃ病院	第3土曜日 (午後2時～午後4時)	西成区子ども・子育てプラザ (西成区梅南1-2-6) TEL 06-6658-4528

おもちゃ病院を利用する際は…



- ◎おもちゃの診療(修理)は無料ですが、部品交換などの場合は部品代または材料費の実費が必要な場合があります。
- ◎おもちゃといっしょに、取れてしまったおもちゃの部品や破片がある場合は持っていきましょう。



修理をお断りするおもちゃもあります



- 下記のおもちゃ類は、安全面への配慮などから修理ができません。
- ◎エアガン・ガスガン・電動ガンなどの危険なおもちゃ類
 - ◎浮き輪・ゴムボートなど、救命用具として生命に関わるもの
 - ◎AC100Vを直接利用する形式のもの・ACアダプター類
 - ◎希少価値のあるアンティークなおもちゃ・人形
 - ◎カメラ・時計・家電製品など、おもちゃ以外のもの



福祉有償活動発表・意見交換セミナー

～みんなで元気に社会参加 withコロナで新しい地域づくり～

**参加
無料**

日時 9月3日(土)・10月8日(土) 各日13:30～16:30 ※12:45から受付開始

内容 9月3日(土)活動発表 【移動サービス】チョイスボシのだ 副会長 佐藤正浩さん(和泉市)
【訪問サービス】NPO法人フェリスモンテ 理事・事務局長 隅田耕史さん(大阪市)
【配食サービス】NPO法人友・友 代表 川口雅香子さん(吹田市)

10月8日(土)活動発表 【地域課題解決×事業】「宿題カフェ」・「ばんざい東あわじ」
株式会社SnailTrack 代表 本川 誠さん(大阪市)
【ワンコイン生活支援活動】「まちのよろず屋」
NPO法人なごみ 事務局長 田村幸大さん(西宮市)



会場 高津ガーデン8階 たかつ西
(543-0021 大阪府大阪市天王寺区東高津町7-11)

対象 福祉有償活動に関心のある人

締め切り 令和4年8月25日(木)まで

会場定員 各日50人 その他 オンライン(ZOOM)参加
※オンライン参加者には後日、URLをお知らせします

申込フォーム

申込みフォーム、
FAXでお申込みください



問 合 せ

事務局: 大阪市ボランティア・市民活動センター
FAX 06-6765-5618
Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp

主催/大阪有償ボランティア団体連絡会

令和4年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金を活用し、実施します。



代表の金山さん(前列左)と
団体理事の皆さん

ようやく、
またみんな
で集まれる
ようになり
ました」と、
代表の金山
佳子さん。

『NPO法人ここから100』は、淀川
区十八条地域でリフォームした空き家
を使い、シニア世代がいきいきと過ごせ
る居場所づくりに取り組んでいます。
年齢を重ねても介護保険を使用しない
アクティブシニアを目標に、100歳体
操をはじめ、スマホ教室、麻雀教室、昭
和の歌を聴く会、料理教室など、さまざ
まな催しを開催。70代、80代の人たち
640人がメンバーとして登録してい
て、SNSで受け取った案内をもとに、
好きなことに自由に参加しています。
「どの催しも、参加した皆さんの「今度
はこんなことがしたい」という声から生
まれた企画です。この2年間は「コロナウイ
ルスの影響で開催できませんでした。が、
ようやく、



メンバーが大活躍のこども食堂

み、刺激し合うことで、どんどん元気に
なっていくことがうれしいと話します。
今年の1月にできた新たな拠点で
は、月に一度、『こころ
100』も『こども食堂』が運
営され、メンバーたち
がボランティアとし
て活躍中。さまざま
な世代の人たちが集
い、つながる場所か
ら、さらに豊かなこ
ミュニティづくりが広
がっています。

問 合 せ

特定非営利活動法人 ここから100
Eメール vivere778@gmail.com
https://cocokara100.com

元気なシニアの集いの場を、ここから

NPO法人ここから100

※令和3年度大阪市ボランティア活動振興基金
居場所づくり支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題の解決のために開設した居場所の、継続的な運営を目的とした事業の支援

共に暮らすまちづくりをめざして

―多文化共生シンポジウム開催―

6月12日、(公財)大阪国際交流センターと(社福)大阪市社会福祉協議会との共催で「日本で暮らす―外国ルーツの子どもとその家族―」と題して、多文化共生シンポジウムを開催しました。

大阪市在住の外国人は過去10年で1.2倍に増え、今や市民の20人に1人が外国人となっています。同じまちに住

む仲間として、まずは外国人が抱えている苦労や心配事を知り、どんなサポートが必要かを考えていく機会として企画しました。

会場には367人の参加があり、第一部では「出会いこそ、生きる力」として俳優のサヘル・ローズさん(以下、サヘルさん)から基調講演がありました。サ

ヘルさんは、養母と共に8歳の時に来日。来日当時、養母の婚約者から受けた虐待に



来日当時の経験を語るサヘルさん

より家を出て2週間ほど路上生活をしていたことや、経済的にも困窮し、パンの耳や試食コーナーでお腹を満たしていたと話します。そのときに、小学校の給食調理員をしていた女性が毎日同じ服を着ているサヘルさんの様子に気づき、夕食の差し入れや、アパートの保証人にもなってくれ、小学校の校長から日本語を学びました。「誰かに見てもらっているうれし

さを感じました。声かけへのためらいがありませんか?どうしていいかわからずに悩んでいる人が今でもたくさんいます。第1歩を踏み出すことが大切です」と会場に語りかけてくれました。

第2部では、(財)ダイバーシティ研究所代表の田村太郎さん(以下、田村さん)のコーディネートにより、3人の外国人パネリストとサヘルさんを交えて、パネルディスカッションが行われました。

田村さんの軽快なコーディネートのもと、パネリストの現在の生活や活躍の様子、また皆さんが子育てをしていて困ったこと、今日の参加者にお願いたいことなどを引き出していきました。パネリストからは、子育てについて、誰に助けを求めたらいいかわからず不安であったことや、見た目で判断され、英語で話さなければと思われているところがあり、距離を置かれてしまう。近くにいる外国人住民の存在を知ってほしい。一緒に地域での取組みを進めていきたいと話しました。



活発に意見が飛び交ったパネルディスカッション

お互いの文化が異なるだけで、悪気はない。壁をつくることは簡単なことで、日本の方から学ぶことも多い。お互いの関係づくりができればとサヘルさんからも意見がありました。

最後に田村さんは、文化の違いは言い訳に過ぎず、支援する支援されるという関係ではなく、一緒に地域をつつていく視点が必要と締めくくりました。

外国人住民と日本人住民が、互いに顔の見える存在として暮らすまちをめざし、このような交流会が身近な地域で行われていけばと思います。

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているバリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って!」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで
地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を助けること。
地元の子どもたちの明るい笑顔を力にして
私たちは これからも、未来を育む活動をつづけていきます。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社 www.ms-ins.com

「保険会社は、紙を多く使う仕事だから木を地球に返そう」
と始めた運動でした。だけど

そんな単純な話ではなかった。

インドネシア・バリヤンで知ったことは「森林は地元の人たちが、生き残るために仕かなく
木を切っていたという事実」。「植林に加え、果樹を育て果実を農民の新しい収入源にする」
というプロジェクトをはじめよう。人と森・生きものが共に生き場所を取り戻そう。
「植えた木の本数」「面積」といった数値だけでは本当の意味で熱帯林は再生しません。
地域の人々と手を取り合って考えた時間が、明日の地球環境を再生させる。
三井住友海上は、まだまだ勉強中です。

三井住友海上は、生物多様性の保全活動もすすめています。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上



令和4年度

第2回 地域こども支援団体連絡会

「コロナに負けないこどもの居場所活動を」

偶数月に定例で開催している「地域こども支援団体連絡会」(以下、連絡会)。

本連絡会は、地域こども支援ネットワーク事業に登録している約240の活動団体や、企業、支援者等が参加し、テーマに合わせて活動報告や意見交換をする場になっています。

6月17日のテーマは、「コロナ禍の中、活動を対面形式で実施することへの想いや工夫」でした。今回の連絡会に参加している団体で、対面形式で活動を実施できているのは全体の4分の1程度だったことから、居場所活動の再開・実

施が簡単ではないことが分かります。

そんな中、対面形式で開催することの重要性や想い、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策での工夫について、『NPO法人西淀川

子どもセンター』『西川 日奈子さん、『般社団法人わいわい』

柳 晴美さん、『特定

非営利活動法人M S I S K』岩崎 拓海さんの3人から発表してもらいました。

コロナ禍だからこ

そ、こどもたちの「居場所」を確保して、対面形式で開催している3団体。他の参加団体からは「対面形式で開催することの大切さを改めて感じた」「開催するときの工夫がとても参考になった」等の感想が寄せられました。



連絡会での活動報告の様子

問合せ

地域こども支援ネットワーク事業 事務局

TEL 06-6765-4041 Eメール kodomo@osaka-sishakyo.jp
https://www.osaka-sishakyo.jp/project/child-network/



おいでよ！ 地域のこどもたち 気軽に立ち寄れるみんなの居場所

こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がる「こどもの居場所づくり」の取組みをご紹介します。

こども食堂「おかき亭」(西成区)

毎月第2金曜日の午後6時になると、こどもたちが駆け足で「おかき亭」にやってきます。「こんにちわー！」と元気いっぱい挨拶をするところへ。ゲームをしたり鬼ごっこをしたり、食事が出来るまで、にぎやかな遊びの時間が始まります。

取材の日に訪れていたのは、こどもたちとその保護者たち36人。もちろん、こどもだけの参加も大歓迎です。この日の食事は、ボランティアが作ってくれた焼きそば、煮物、そしてデザートのカップケーキ。時には敷地内で育てているトマトなどの野菜をみんなで収穫して食べたり、食卓にはいつも笑顔とおしゃべりが絶えません。

「こころでは決まり事は一切なし。



みんなで一緒に食べるごはんは、おいしさも格別！

だから居心地がいいのか、みんな食堂が終わる時間まで帰らずに、自由に過ごしてくれています」と、代表の片岡伸哉さん。高齢者もこどもも、誰もが安心して暮らせる地域の拠点として、「おかき亭」には今夜も温かな灯りがともし続けます。

問合せ

こども食堂「おかき亭」

TEL・FAX 06-7501-9174
http://www.warafuku.co.jp/



福祉課題に取り組む ボランティア活動を支援

「令和4年度大阪市ボランティア活動振興基金交付式」

2年ぶりの式典に
142の団体が集結

6月3日、阿倍野区民センター大ホールで、『令和4年度 大阪市ボランティア活動振興基金』交付式が行われました。



代表の交付団体に助成決定証書を贈呈

この基金は、大阪市内で地域のさまざまな福祉課題に取り組むボランティア活動の支援を目的に、1980年から大阪市社会福祉協議会（以下、市社協）が行っている助成事業です。今回の交付式は実に2年ぶりで、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら開催することができました。

最初に市社協 吉村浩常務理事が「各団体がウィズ・コロナ、アフター・コロナに向けて挑戦しようという思いが申請書から伝わり、大きな期待を寄せています」と挨拶を述べ、続いて助成決定証書の贈呈が行われました。

今年度助成を受けるのは、居場所づくり支援、活動支援などの6項目に該当する全142団体。壇上のスクリーンにすべての団体名が映し出されるなか、各項目の代表者に証書が授与され、会場には大きな拍手が起りました。

所めぐみ運営委員長は「審査にあたり、ひとつひとつの団体の活動の重みを感じた」と講評を述べ、多くの団体が集まったこの場を、情報交換などにも活かしてほしいと訴えました。

想いをカタチに変えた
昨年度の活動報告も

第2部では、昨年度の交付団体を代表して、2団体から活動報告が行われました。

障がいのある大人と子どもとその家族の会として活動する『輪母ネットワーク』は、昨年度の交付を活かして、活動拠点となる「わははハウス」を開設。いつでも集まれ、さまざまな活動に使える場ができたことで、地域や他団体との連携も広がったと報告しました。

乳がんの患者サロンを運営する「一般社団法人ブレストフォト協会」は、交付によって、2台目となる乳がん触診モデルを購入。乳がん検診の啓発ツールとして活かし、乳がん経験者が社会貢献できる活動をさらに推進していきたいと語りました。

大阪市ボランティア・市民活動センター上野谷加代子所長が「昨年度の助成から、このような結果が生まれているのは非常にうれしいこと。今年度も、



会場には交付を受ける143団体の代表者が一堂に

つながりづくりを大切にしながら、ボランティア活動を楽しんでほしい」と式典を締めくくりました。

閉会後には交流の時間が設けられ、にこやかに名刺交換を行う人たち、活動について熱く話し合う人たちの姿が。前向きに交流を楽しみ、皆さんの様子に、これからの時代にマッチした、新たなボランティア活動やネットワークづくりへの期待がますます高まりました。

問合せ

大阪市ボランティア・市民活動センター
TEL 06-6765-4041 FAX 06-6765-5618
<https://ocvac.osaka-sishakyo.jp>

情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



OCVAC のウェブサイトから 団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

④「やってみよう屋」お手伝いボランティア募集

にしなり隣保館スマイルゆ〜とあい&NPO法人FAIRROAD 平日
<http://www.s-you-i.jp/> 継続 食 住 環境

毎回テーマを決めた文化体験と食事提供に取り組んでいます。「やってみよう!」を合言葉に、居場所に集うこともたちの一歩を応援しませんか?

日程 7/21(木)、7/22(金)、7/26(火)、7/29(金) 各日10:30~15:30
※3時間からの参加でOK! ※8月以降については応相談

場所 にしなり隣保館スマイルゆ〜とあい(西成区出城2-5-9)
JR「新今宮」駅から徒歩10分
地下鉄「花園町」駅から徒歩15分

人数・条件 大学生以上 各回5人まで

申込方法 電話、Eメール ※先着順

問合せ ▶ TEL/06-6561-8801 (担当:寺島)
Eメール info@fairroad.org (担当:阪上)

①弦楽器メンバー募集

福祉の管弦楽団まごころ 土日祝

<http://www.orch-magokoro.com/> 継続

日本初のボランティア専門の管弦楽団として福祉の場での演奏交流活動を続けています。障がいを抱えた団員とともに演奏の特技を生かしてみませんか?

日程 7/24、8/7・21、9/4・18、10/2・16、11/6、12/11・25の各日曜日
13:00~16:00

※出欠自由となりますので、ご都合の良い日のみの出席でも大丈夫です。

場所 大阪市立都島区民センター(都島区中野町2-16-25)
JR「桜ノ宮」「京橋」「大阪城北詰」駅から徒歩約10分
地下鉄「京橋」駅から徒歩約10分
地下鉄「都島」駅から徒歩約15分

人数・条件 どなたでも(ご見学や体験入団も歓迎します)参加費500円
難曲はしませんが福祉の場での一般的な曲の合奏に参加できる程度の方。譜面台はご持参ください。新型コロナウイルスの影響で例会が変更になることもあります

申込方法 Eメール、来所

問合せ ▶ TEL/090-1481-9910
Eメール magokoro@gold.ocn.ne.jp (担当:仲川)

⑤コラボ型男女共同参画セミナー 企画実施団体募集

クレオ大阪(大阪市立男女共同参画センター) 平日 土日祝
<https://www.creo-osaka.or.jp/collabo/> 単 継続

クレオ大阪とともに男女参画をめざし、協働(コラボレーション)でセミナーを企画・実施する、グループ・団体・NPO等を募集します。

応募対象 大阪市内に活動拠点をもつ団体(※法人格の有無は問わない)

応募数 クレオ大阪中央・子育て館・西・南・東 各1団体

支援内容 会場提供、申込受付・受講案内、広報協力・運営協力など

応募方法 HP内の募集要項をご確認のうえ、必要書類をクレオ大阪中央に、来館、郵送、FAX又はメールにて提出してください。

応募締切 7月31日(日)

問合せ ▶ クレオ大阪中央 天王寺区上汐5丁目6番25号
TEL/06-6770-7200 FAX/06-6770-7705
Eメール collabo-seminar@danjo.osaka.jp

②小学生から高齢者までけん玉先生大募集

中央区社会福祉協議会 平日 土日祝

<http://www.osaka-chuo-syakyo.jp/> 継続

フレイル予防として高齢者のけん玉教室を開催します。年齢・性別・けん玉の腕は問いません。一緒に遊び方を教えていただける先生を大募集します!

日程 毎月第3火曜日・土曜日 14:00~15:30

第1回目は9月に開催予定
先生向けの事前打ち合わせ 8/20・30 14:00~15:30

場所 ふれあいセンターもも(中央区上本町西2-5-25)
地下鉄「谷町6丁目」駅3番出口から徒歩5分

人数・条件 どなたでも

申込方法 電話、来所

問合せ ▶ TEL/ 06-6763-8139 FAX/ 06-6763-8151
Eメール tiiki@eos.ocn.ne.jp (担当:御木)

⑥第3回 あったか演劇甲子園大会

NPO法人 あったか演劇研究会 土日祝

<http://www.attakafamily.com> 単

社会の課題をテーマにした脚本を、各グループで考え上演します。ご一緒にこれからのより良い社会創りを考えませんか?観客の皆様が審査員です!

※NPO法人あったか演劇研究会による演劇もお楽しみに!(フォントを小さく)

日程 8/27(土) 11:30~16:30

場所 茨木市市民総合センターホール(クリエイティブセンター)(茨木市駅前4-6-16)
JR「茨木」駅から徒歩10分
阪急「茨木市」駅から徒歩12分

人数・条件 100人まで どなたでも
1000円(小学生まで無料)

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ ▶ TEL/06-6394-5137 FAX/06-6394-5111
Eメール mail@attakafamily.com (担当:市原)

③園芸に興味ある方募集!

西成区ボランティア・市民活動センター 平日

<http://nishinari-shakyo.jp/> 継続 環境

西成区内で一緒に園芸活動をやってみませんか?

花の植え替えや草抜き、水やり等の活動を行っています。

日程 随時(活動先に応じて調整します)

場所 西成区内の各施設等

人数・条件 どなたでも

申込方法 電話、来所

問合せ ▶ TEL/06-6656-0080 FAX/06-6656-0083
(担当:栗川・海野)



平日 土日祝

問合せ▶ TEL/06-6371-7146 FAX/06-6371-6722 (担当:西田)



土日祝

問合せ▶ TEL/06-6972-6490



平日




Eメール daishikyo-shomu@wine.ocn.ne.jp (担当:西林)
※上記アドレスからのPCメール受信設定をお願い致します



平日




Eメール: daishikyo-kibou@ajoros.ocn.ne.jp (担当: 蔵野)



土日祝



TEL/00-0020-4950 FAX/00-0020-4
Eメール dementia@alz-osaka.net (担当:神垣)



平日 土日祝



問合せ▶ TEL/06-6371-7146 FAX/06-6371-6722 (担当:西田)



問合せ・提出先▶公益財団法人 日本女性学習財団 第6回未来大賞係
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館5階
Eメール jawe@nifty.com



Eメール 問い合わせフォームを利用してください(担当:生尾)



〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル29階
TEL/03-3216-7122 FAX/03-3216-8676
Eメール skouseikai@yomiuri.com

NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリリーススタイルでお届けします。

「訪問型」の「有償活動」を通じた新たな地域共生の取り組み!!

NPO法人 フェリスモンテ

1999年に「有償ボランティア」の「活動」を始めました。身近なお困りごとのお手伝いをして、利用者から謝礼を受け取り、活動者に渡す仕組みです。「元気なおばちゃん」がたくさん参加しました。その後、たくさんの「事業」を行うようになり、活動の対象者も高齢者、障がい者、子育て親子、生活困窮者と広がりました。

20年ほどの間に、「元気なおばちゃん」は、おばあちゃんになりました。周りを見わたしても、ボランティア活動をする「元気なおばちゃん」は、あまり見なくなりました。組織も100人以上を雇用していたときに比べると、人数も事業規模も半分以下になりました。

2018年から、元気な高齢者が、高齢者の生活支援をする「活動」を始めました。(大阪市委託「住民の助け合いによる生活支援活動事業」)

これまで20人超が活動し、約60人の生活支援をしてきました。70代、80代の活動者がいきいきと活動されています。しかし、「膝が痛いので掃除ができない」といった声もあります。そこで最近、近所の『NPO法人ザ・ホープフル』が「障がい者就労継続支援B型事業所ぱれっと」として、応援している方々にも活動者として参加してもらっています。新しい「地域共生」の取り組みが動き出しています。

<http://www.otasha.jp>



高齢者宅の庭掃除も、地域で暮らす人たちがサポート

情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしています。どしどしお寄せください。



申し込み方法

専用フォームから情報をお寄せください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌[COMVO]編集室
天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618
Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp (担当:泉・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。(例:2022年9月15日発行号(10月号)に掲載希望の場合は2022年7月末日まで)

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み＝掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

大切なお知らせ!!

新型コロナウイルスの感染防止のため情報マーケットに掲載の活動やイベントなどを予告なく中止・延期とする場合があります。ご了承ください。



必ず参加前に連絡して確認をお願いします

OCVAC(おくばっく)オリジナルエコバッグをプレゼント!!

いつも情報誌COMVOをご愛読いただき誠にありがとうございます。P14上段の読者アンケートにご協力いただいたみなさまの中から抽選で毎号5人に、大阪市ボランティア・市民活動センター公式マスコットキャラクター『おくばっくん』をプリントしたオリジナルエコバッグをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、ファックス、Eメール、またはQRコードからお送りください(P14参照)

小さくたたんで持ち歩けるよ!



縦410mm×横380mm



ともに活動するメンバーたちと一緒に

私は、小学生の時に大好きな食べ物
が捨てられるのは嫌だけど、知識がな
くて余った分を自分がすべて食べるこ
としか思いつかないというジレン
マを経験しました。
大学生になって、自分のように、
何かアクションを起こしたいけれ
ど、知識やきっかけがなくてでき
ないことも視野を広げる体験を
与えたいと思ったことが活動を始
めたきっかけです。
学生団体『BohNo(ボーン)』
では、主に小学生を対象とした、2
か月に1回の定期食育イベントの
開催を中心に、地元で余った食材
を使った商品開発や、美味しく食
べられる期間が残っているのに
ルール上廃棄されてしまう食品を
販売する食品ロス削減活動を行っ
ています。

こどもたちに視野を広げる体験を与えたい

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との
交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の
活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者た
ちのリアルな声を届けます。

学生ボランティア活動

連載リレーコラム No.23

がんばれ!

それゆけ!



立命館大学
食マネジメント学部

橋本涼(19歳)

プロフィール

所属団体: 立命館大学学生団体「BohNo」
趣味: ランニング
学年: 2年

私たちはこれらの活動をしていく
中で、こども達がイベントに参加し
てくれることでチャレンジ精神が芽
生えたり、積極的に発言してくれる
ようになったりするなど、ぐんぐん
成長していく姿を見られました。そ
のことにパワーをもらい、先生役に
挑戦してみるメンバーも増え、こども
達の視野を広げるだけでなく、自
分たちの視野も広がっているとい
うことに気づきます。また、商品開
発を行うことで食品ロスを削減し
ながら、地域の活性化に関与できる
ことも楽しみみの1つです。大学生と
いう自由な時間をこの団体とも
に過ごせて幸せです。

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソード
などを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当: 泉・竹澤)

エントリーは
こちらから▶



アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎月5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌COMVO269号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2022(令和4)年8月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



大阪シティ信用金庫 社会貢献活動トピックス

「ユニセフ・チャリティウォーク」に協賛・参加

当金庫は、4月9日に開催された大阪ユニセフ協会主催の「第14回ユニセフ・チャリティウォーク」に協賛・参加しました。

このチャリティウォークには、平成18年から14回連続で協賛しており、当日は、河村相談役、高橋理事長はじめ新入職員を含む役職員と家族約400名が参加し、同チャリティウォークを盛り上げました。

当金庫は、バザーなどのチャリティイベントへ積極的に協賛・参加しているほか、売上の一部を同協会に寄付する「支援自動販売機」を営業店9カ店および本部に設置するなど、同協会の活動に協力しています。



園内を歩く(右から)高橋理事長、河村相談役

ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

■体裁・発行・部数

B5判 16頁(フルカラー)年10回発行

■広告申し込み締切

発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)

■申込方法

下記まで問合せください

赤字が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。

それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

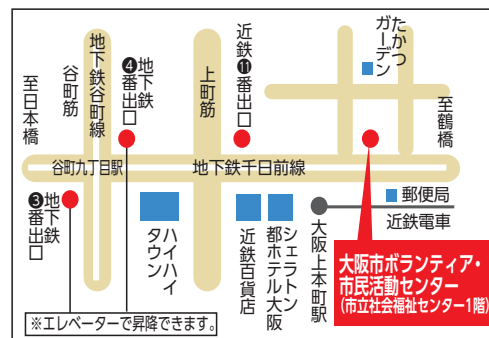
●開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)

●休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2022年7月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)

●発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぽこ・あ・ぽこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



お知らせ

情報誌COMVOは年10回の発行です。

次回は令和4年9月15日発行になります。

(令和4年8月15日は休刊です)COMVO編集室

「COMVO」主な設置・配布場所

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪府役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商工会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

ウェブサイトからもチェック可能!

<http://comvo.lekumo.biz>

twitter <http://twitter.com/ocvic1998>

Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援を進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシアバリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668